

JENESYS 2.0**韓国中学生訪問団第3団****訪問日程 平成27年11月5日(木)～11月11日(水)****1. プログラム概要**

「JENESYS2.0」の一環として、韓国国立国際教育院で選抜、派遣された韓国中学生訪問団第3団計30名が、11月5日から11月11日までの6泊7日の日程でプログラムを行いました。

団長：尹己鉦（ユン・ギジョン） 求禮東中學校 校長

訪問地：東京都、熊本

「日本を感じる」というテーマの下、滞在中、東京都内・北海道で、学校訪問や文化体験及び企業見学を行ったほか、文化体験を通して、日本への理解を深めました。

2. 日程**11月5日(木)**

成田国際空港より入国

11月6日(金)

熊本県の魅力に関する講義，歓迎昼食会，埼玉県久喜市へ移動，久喜市市内視察(埼玉県久喜市立郷土資料館，鷲宮神社など)

11月7日(土)

熊本へ移動，熊本市内視察(熊本城，水前寺成趣園など)

11月8日(日)

天草へ移動，市内視察(天草ビジターセンター，天草漁協五和支所イルカウォッチング，真珠取り出し体験など)

11月9日(月)

天草市立新和中学校訪問，ショッピングモール訪問

11月10日(火)



天草市内視察(天草市立ロザリオ館，大江天主堂，上田陶石合資会社<高浜焼寿芳窯，上田家資料館>など)，福岡へ移動，成果報告会

11月11日(水)

福岡空港より帰国

3. 写真

	
<p>(日本語) 11月6日 熊本県について講義 (墨田区)</p>	<p>(日本語) 11月6日 鷲宮神社見学 (埼玉県久喜市)</p>
<p>(母国語) 11월 6일 쿠마모토현 강의 (수미다구)</p>	<p>(母国語) 11월 6일 와시노미야신사 (사이타마현 구키시)</p>
	
<p>(日本語) 11月6日 久喜市郷土資料館 (埼玉県久喜市)</p>	<p>(日本語) 11月8日 天草ビジターセンター (熊本県上天草市)</p>
<p>(母国語) 11월 6일 구키시향토자료관 (사이타마현 구키시)</p>	<p>(母国語) 11월 8일 아마쿠사비지터센터 견학 (쿠마모토현 카미아마쿠사시)</p>
	
<p>(日本語) 11月8日 イルカウォッチング(天草市五和町)</p>	<p>(日本語) 11月8日 真珠取り出し体験 (天草郡苓北町)</p>
<p>(母国語) 11월 8일 돌고래워칭 (구마모토현 아마쿠사시)</p>	<p>(母国語) 11월 8일 진주꺼내기 (구마모토현 아마쿠사군 레이호쿠마치)</p>

	
<p>(日本語) 11月9日 天草市立新和中学校 訪問 (天草市新和町)</p>	<p>(日本語) 11月9日 天草市立新和中学校 訪問 (天草市新和町)</p>
<p>(母国語) 11월 9일 신와중학교방문 (구마모토현 아마쿠사시)</p>	<p>(母国語) 11월 9일 신와중학교방문 (구마모토현 아마쿠사시)</p>
	
<p>(日本語) 10月9日 天草市立新和中学校訪 問 (天草市新和町)</p>	<p>(日本語) 11月10日 上田陶石合資会社 (高浜焼) 見学 (天草市天草町)</p>
<p>(母国語) 11월 10일 신와중학교방문 (구마모토현 아마쿠사시)</p>	<p>(母国語) 11월 10일 우에다도석합자회사 (구마모토현 아마쿠사시)</p>

4. 参加者の感想

◆印象的だったこと

○学校訪問に関して

- ・日韓両国の先入観や偏見がなくなったようでうれしく、今時こんな中学生がいるのかと思うほど純粋で素直な新和中学校の学生たちが交流しようとする姿がかっこよかった。
- ・訪日前、日本に対する印象は良くなかったが、この訪問を通して認識が変わり、学校訪問で友達もでき、お互いに交流することで日本に対する関心が深まった。
- ・授業中もみんな和気あいあいと笑いながら勉強していることが印象的だった。交流の時のミニバレーでルールを知らなくて迷惑をかけたと思ったが、笑顔でルールを教えてくれ、そのやさしさが嬉しかった。
- ・初めて会うのに、笑顔で近づいてきてくれて少しふざけたりして、興味が湧いた。
- ・競争を重要視する韓国と違い、お互いに協力する日本の学生の雰囲気分かり驚き不思議だった。
- ・自分の中学校と違い学生が校則を守ってきちんと制服を着て、先生の話をしっかり聞き、化粧する学生もいないことが新鮮だった。
- ・ペアになり向かい合って座り、肖像画が書いたことで話をしたので親しくなり、日本人も韓国人と変わらないことが分かり親近感を覚えた。

○伝統、文化に関して

- ・武士の文化は陰しく暴力的な集団が形成した文化だと思っていたが、通訳の先生の話聞いて肯定的な考えに変わった。他国の歴史を否定的にみていた自分を反省する機会になった。今まで世界史の時間はつまらなかったが、今回直接経験して興味がわき、もっと詳しく勉強したいと思った。
- ・日本の色々な伝統文化に接し、日本人の認識を知り、日韓関係は改善するだろうと感じた。
- ・日本人の大多数は規律を守ることを重要視し、韓国人に対して友好的だということが分かった。
- ・食事や普段の生活マナーが韓国より厳しいと思った。
- ・来日前は食事を心配したが、美味しかった。
- ・鷲宮神社の手水の作法が印象的で、ひとつひとつの動作に意味があることを知って驚いた。

○人間性について

- ・「日本人の市民意識は違う」と感じた。見知らぬ外国人が挨拶をしても明るい笑顔で受け入れてくれた。このような文化が韓国にも伝わり日本のように礼儀正しく市民意識の高い国に変わったらよいと思う。
- ・他人をけなさず、配慮する日本人の姿は韓国もまねするべきだ。
- ・どこへ行ってもたばこの吸い殻ひとつ落ちていなく、何か聞くと親切に答えてくれた。
- ・ちょっとぶつかっただけで、「すみません」と言い、「ありがとう」「いらっしやい」などの簡単な挨拶が体にしみついている。
- ・日本人は劣等感がなく、秩序よく暮らしている。

○その他

- ・1週間どうやって過ごそうかと心配したが、今は6泊7日をもっと長かったら良かったと思う。
- ・日韓文化交流基金主催の歓迎昼食会に招待され、格式のある雰囲気の中で自分が「日韓交流」という場に参加できたことは意味深いと改めて感じた。

◆自国の人に伝えたいこと

- ・日韓関係の発展のためには、日本に対する認識を変える必要があると考えるようになった。日本の否定的な一部分だけを見て判断するのではなく、学ぶ点は学び、改善すべき点は改善するというふうに強硬に立場をあきらかにする必要があると思う。帰国後、日本人の韓国に対する認識や態度を伝えたい。
- ・ゴミ箱がなくてもたばこの吸い殻がないのが印象的だった。ニュースやSNSを通して知った日本より、直接見て経験したことを周囲の人々に伝えたい。
- ・日本の友達はとても親切でやさしく、授業もなごやかに行っている。韓国の学生が改善しなければいけない点を伝えたい。
- ・今後日本と韓国が政治的、外交的、歴史的な面において、お互いに1歩ずつ譲歩すれば親しい国に成長すると思う。今後民間外交官として日韓関係改善に多様な方面で寄与したい。